

大工基礎講座開講!

好評の大工基礎講座がリニューアルして受講しやすくなりました。「道具」から「墨付け」「継ぎ手」など大工の基本を学びます。

【内容】1月24日開講 全8日間【受講料】3万円【問い合わせ】技術研修センター048-661-8139

申し込みは所属支部へ

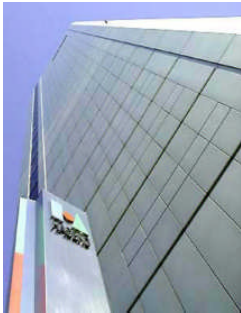


住まいのネットワークとは

住まいのネットワークは規約も会費もないゆるやかな組織で、この情報誌を読むことが会員の資格です。学習・交流を通じ、中小業者の協同化を目指しています。

発行所：埼玉土建一般労働組合
さいたま市南区鹿手袋6-18-12
電話 048-863-6293

我々の仲間も多く働くマンション大手の長谷工。改定建基法により苦況にたたさされている



修正を発表したゼネコンもでてきており、マンション建設などにたずさわる野丁場の仲間の仕事に深刻な影響が

が年内一杯続いたとす

購入時にまとめて購入

とするケースの多い家電製品への影響や、さらに全労働者数の約1割を占める建設産業従事者の消費への影響次第では、日本経済への打撃はさらに大きくなる

分譲マンションに深刻な影響

住宅着工戸数の激減が続いている。前年同月比で7月23・4%減、8月43・3%減、持ち直すとみられていた9月が44%減と3か月連続の大幅な減少となり、年率換算値は72万戸と統計開始以来の史上最

低値を更新した。9月の新設住宅着工戸数は6万3018戸。深刻なのが分譲マンションで、前年同月比74・8%減(19県で着工ゼロ)となっている。マンション最大手の長谷工は建基法の改定後から9月末までに確認が下りた物件はたったの4件。これは他のゼネ

国土省の対応の効果はあるか?

深刻化する建築確認の停滞問題を受け、国土省は、事前相談を受けるようにとの通達を出すなど、対応を変えてきたが、11月14日には、新たな改定建築基準法施行規則を公布、施行した。

また、間仕切りや開口部の変更で、構造安全性や防火・避難性能に影響を与えない場合などは、計画変更確認が不要な「軽微な変更」として取り扱うようだ。しかし、一般的に使用される材料の認定書であつても、審査機関が集めるのはこれからなるため、しばらくは混乱が続くことになる。さらに構造判定員の不足や、大臣認定プロ

東京・埼玉ともマンションが深刻
地域別では、首都圏が前年同月比54・2%減。東京はマンション着工が64・8%減と深刻。埼玉は3・944戸で40・4%減。在来木造13・7%減と極端な落ち込みが見られない一方、マンションの他、RC造住宅も26戸(58・7%)と激減している。

改定建基法

着工戸数三ヶ月連続で大幅前年度割れ 悪影響音拡大 誤り認め円滑化に必死 国土省

確認申請時に義務付けられていた大臣認定書の写しは、審査機関がもつていけば、申請書に添付する必要がなくなり、審査機関がもつていない場合に限り提出する。

ソフム七充元とらしいない状況で、ピアチエツクを要する建物の確認審査についての混乱は続くと考えられ、今回の施行規則の改正の効果は疑問視されている。

ニチアス 東洋ゴム工業

大臣認定を不正取得 住宅・ゼネコン各社対応に追われる

10月30日にニチアス、11月5日には東洋ゴム工業が相次いで建材の大臣認定の不正取得を発表。住宅メーカー、ゼネコン各社は対応に追われている。2件目の不正取得の発覚で、大臣認定制度の信頼性が根底から揺らいでいる。

ニチアスの不正が発端に

ニチアスは10月30日、住宅用軒裏天井と耐火間仕切り壁材の一部の製品について、準耐火・



ニチアスの川島社長は11月末での辞任を発表

耐火認定番号の一部を不正な試験方法で取得していたと発表した。

不正があったのは、住宅用軒裏天井「防火のき天」の準耐火性能試験、および耐火間仕切り壁「ファイアータ

イト60S、耐火ウオーイル60S」の耐火性能試験。いずれも規定よりも含水率の高い繊維混入けい酸カルシウム板などを用いた不正な試

験体を使用していた。

ニチアスは06年10月には事実を把握していたが、事実を隠ぺいし

たが、匿名の告発文書が会社に届けられたことで、ようやく不正を公表した。

住宅メーカー・ゼネコンは対応に追われる

不正の住宅用軒裏天井材は、約10万棟分出荷されており、ニチアスの「偽装製品」を使用

してしまったハウスメーカー、ゼネコンは、対応に追われている。

旭化成ホームズは、「ヘーベルハウス」の一部と賃貸アパートの約4万5千棟に使用。

ミサワホームも、不正製品を約5万棟に使用。ゼネコン各社は発注者の要請を受け、不正があった製品を使用した建物を特定する作業に

ニチアスの偽装の手法

項目	認定試験の申請内容	実際の試験体の仕様
軒天板基板	不燃認定を受けた繊維混入けい酸カルシウム板	不燃認定未取得の繊維混入のけい酸カルシウム板
試験体屋根部の耐火被覆の含水率	含水率は5%未満	含水率10～30%
軒天板塗装	アクリルウレタン400g/m ²	水系リシンベース100g/m ²
タッピングねじ	直径3mm、長さ25mm	直径4mm、長さ65mm

追われている。

ニチアスは11月1日、大臣認定を不正に取得していた製品の取り換え、改修などに要する費用として、現時点で約300億円を見込んで

いるという。不正な方法での大臣認定を取得し、基準の耐火性能をもたない製品を販売しつづけたメーカーと不正を見抜けな

かった性能評価機関の

眞仕は里入た
東洋ゴム工業は社内調査で不正発覚
11月5日、東洋ゴム工業は、硬質ウレタン製断熱パネルの一部製品について、大臣認定を不正に取得したケ

スが6件あったと発表し、国交省は即日、認定を取り消した。東洋ゴム工業は、ニチアスの不正を受け実施した10月31日の社内調査で不正取得が判明した。

国交省が1772社に自主調査を依頼

国交省は11月19日、防火関連の構造方法等の大臣認定を取得している1772社全てに不正受験の有無などの自主調査を12月21日までに進めようとしている。

一方で来年1月からは国交相自身が認定製品のサンプル調査を実施する。3件目の偽造発覚は時間の問題かもしれない。

日経ホームビルダーによると、PL法上は最終製品を完成させた住宅会社に責任があることから、今後偽装が発覚した場合の予防策として、仕様建材の納品伝票は全て保存するべきだとしている。

建材の納品伝票はすべて保存を 不安な顧客にすばやく対応を

宅購入者の中で不安になつていく人も少なくないはず。我々工務店も、ニチアス製品を使用していなくても顧客に安心であることを伝えるなどのアクションはおこすべきだろう。そういつきめ細かい対応が工務店の信頼の強化へつながるはずだ。